

ピクチャーカードの活用方法 — 導入から recitation まで

日 基 滋 之 Hidai Shigeyuki (東京学芸大学附属世田谷中学校)

はじめに—授業構成を振り返って

様々な授業のスタイルがあると思いますが、日頃の平常授業でよく見かける授業の流れは以下のようなスタイルが多いのではないのでしょうか。

【平常授業での流れと主な活動】

Greeting	あいさつに続き曜日を聞くなど
Warm-up	song, word game, chat など
Review	前時の復習となる活動、発表活動など

Introduction

-Grammar	文法・句型等の導入、その後の pair work 等で練習
-Contents	本文の内容の oral introduction
Reading	一斉読みなどの音読練習
Consolidation	書く活動など
Closing	あいさつ

さて、このような授業をイメージしたところで、授業のどの場面でどのように picture cards を効果的に活用できるのか、太字の部分の言語活動を中心に考えてみたいと思います。

1. Introduction—紙芝居の要領で picture cards を用いて導入する

Picture cards の裏には、教科書本文の英語と Listening Input がパラレルに印刷されています。多忙な教師にとって、この Listening Input はとても参考になります。この英文にほんの少し手を加え、picture cards を示しながら話をするので、本文の内容の introduction を行うことができます。14NC 1年 LESSON 9 ①-1 No.167 の picture card を見てください。

〈表〉



〈裏〉

Listening Input

Ken has a pen friend in England. This is a letter from England.
[Letter] 15 January
Dear Ken,
Thank you for your letter. I received it yesterday.

以下は Listening Input の例（下線部は Listening Input に手を加えた箇所）です。

T: (絵の少年を指さし) Look at this boy. His name is Ken. He has a pen friend in England. This is a letter from England. The letter says 15 January. (と言いながら、あらかじめ 15 January と書いておいた letter を黒板の picture card の上に重ねて貼ります。) Dear Ken, Thank you for your letter. I received it yesterday. ...

このようにして、次の picture card へと進んでいきます。

最後の picture card まで一通り話し終えてから、内容について以下のように質問していきます。

T: Now I have some questions. Who is this boy, S₁?

S₁: Ken.

T: Right. He is Ken. Where is this letter from? Is this letter from the USA, S₂?

S₂: No.

T: Then, where is this letter from?

S₂: England.

T: That's right. It is from England.

Picture card を提示しながら、生徒の理解を確かめつつ question-answering を進めていきます。

2. Reading—音読から recitation へ

Reading の活動は、choral reading から buzz reading, そして read and look-up へと進めていきますが、これだけで教科書の英文がスラスラと頭に入ってしまうというわけにはいきません。もう一工夫、必要になります。Read and look-up のあとに pair reading を行います。次のようなハンドアウトを準備し生徒に配布します。

Pair reading に用いるハンドアウトの例

LESSON 9
A Letter from England
 彼が、イングランドのペンフレンドから手紙をもらいました。ナショナル・トラストのことが話題になります。

15 January

Dear
 Thank
 You
 Last

I
 He
 It

1. Where is this letter from?
 2. Is the Lake District beautiful?

I play soccer every day.
 I played soccer yesterday.

dear receive yesterday ask last summer walk enjoy

England イングランド Peter Rabbit ピーターラビット the Lake District イングランドの湖沼地帯

seventy-nine 79

教室での Teacher Talk の例

T: (After distributing handouts) Boys, look at your handout. Girls, look at your text. Girls, listen to the boys, first. When the boys can't say the lines, please help the boys. After the boys have finished, exchange roles. Girls, it's your turn. Look at your handout. Boys, please help the girls. Now, let's begin.

ここで、隣同士、2人1組になり、男子が最初にハンドアウトを見て、テキストの空欄を補って英文を言います。隣に座っている女子は、教科書を見てパートナーである男子の言う英文をチェックしながら、男子が言えなかったり、間違っただけで言った場合は言い直すなどします。次に男子と女子が役割を交代します。

生徒たちは reading の活動の最後に pair reading の活動がくることを知っているので、buzz reading や read and look-up の段階から、教科書の本文を覚えようとする気持ちで1つ1つの活動に取り組んでいるように見えます。

また、reading の活動が活性化する理由として学期末に行っている reading test と recitation test があると思います。この学期末の reading test¹⁾ と recitation test²⁾ が washback effects となり reading により効果をもたらしているように思います。

3. Review

—前時の復習として picture cards を用いる

前時に pair reading まで終わっていると、本時では復習として recitation の活動を行うことができます。これには2つの方法があって、1つは「cueとして words を提示する場合」ともう1つは「cueとして words を提示しない場合」です。

① cue として words を提示する場合

暗唱がまだ十分でない生徒にとっては cue となる key words は暗唱を助けてくれます。教師が本文の各文の最初の単語を言ってあげるか、flash cards のようにカードに単語を書いて黒板に貼ってあげるのもよいと思います。教師の cue を待ちきれず、勢いあまって教師より先に言おうとする生徒が出てくればしめたものだと思います。

② cueとして words を提示しない場合

学年が上がるにつれてテキストの難易度も上がり、英文が頭に入りにくい場合もあります。しかし、cueとなる文字の補助がなく教師が picture を指し示すだけで本文が言える段階まで到達すれば、これでひとまずこの活動は終わりにしてよいと思います。

次の写真は Book 1 Lesson 9 の総復習として、すべての picture cards を黒板に掲示し、recitation をしている授業の1コマです。教師が次々に各絵をポイントし、生徒が chorus で recitation している様子です。



4. Picture cardsを用いたコミュニケーション活動—picture description のタスク

この Picture description の活動は Show & Tell の活動に似ています。既習のレッスンの picture cards を用いて生徒にその picture について説明してもらうことにより、生徒の表現力をみることができます。

準備として、既習のレッスンの picture cards の中から、各課の特徴をよく表している picture cards を何枚か選びます。また、レッスン名を書いたくじを作っておきます。

Picture description の時間では、生徒にくじを引いてもらい、くじに書かれたレッスンの picture card について英語で説明してもらいます。1人1分で1枚の絵について説明してもらうのがよいと思います。Picture description では、生徒が既に学習した教科書本文の story だけでなく、語句や表現が自分のものになっていないとうまく説明できません。recitation のように覚えた英文を picture cards を見て言う練習から自分の言葉で picture card につ

いて説明するので、一歩進んだコミュニケーション活動と言えると思います。

おわりに—基礎の定着のために

Picture cards を見ながら recitation ができるようになって、しばらくすると内容は覚えているのだけれど、表現する語句が思い出せないということがよくあります。あるレッスンの recitation ができるようになったら、学期末には、2で紹介した pair reading の活動で用いたハンドアウトを使って recitation test を行ったり、picture description をするなど、活動の recycle をすることが効果的です。

また、recitation ができるようになったからと言っても、それとは別に書く練習も必要です。各レッスンが終わったところで、あるいは夏休み、冬休みあけに、既習レッスンの各セクションから日本語を英語で書かせる* written test を実施することも忘却を食い止めるのに役立つと思います。このように、recitation に加えて picture description, written test のあわせ技をうまく利用していくとよいと思います。

* written test の例

教科書チャンピオンをめざそう！

次の日本語を英語で書いてみよう。

1. だからわたしは日曜日には早く起きます。(p.48)
2. 生徒たちは、好きな昼食を選びます。(p.50)
3. ぼくたち授業に遅れるよ。(p.56)
4. メイリン (Meiling) は中国語をわたしに教えてくれます。(p.58)
5. あなたはこの単語を読むことができますか。(p.59)
6. わたしも古い漢字は書くことができません。(p.60)
7. これはだれの竹とんぼですか。(p.64)
8. 彼らは旅行に出かけることはありません。(p.68)
9. 日本には多くの介助犬がいるのですか。(p.69)
10. この前の夏、ぼくは湖水地方を家族と一緒に歩きました。(p.79)

[参考文献]

- 1) 日基滋之 2003 「表現の能力「話すこと」の評価」三省堂 *Teaching English Now vol.1*
- 2) 日基滋之 2004 「語順が身につく授業への小さな提言：中1の授業実践から」大修館書店『英語教育』12月号、pp.22-23